

岡山市長

高谷茂男 73

(岡山市北区)

私は民間出身で平成17年から岡山市長を務めている。市長に就任し、1行財政改革に着手し、1期目に年間約245億円の財政効果を上げることができた。国、地方とも行財政改革は必須だ。

昨行われた国の事業仕分けの中で、下水道の整備水準は既にかなり高くなっており、今後は人口規模の小さい地域での整備が中心となることから、より低コストで整備できる合併浄化槽(個別の家庭などで汚水と生活

## アピール

排水と一緒に浄化するもの)を活用すべきだとの議論が行われた。

しかし岡山市の場合、下水道整備の必要な市街地がまだまだ多く残っている。人家が集中する市街地では、合併浄化槽で個々の家庭に対応するよ

### 下水道整備は依然として必要

りも、下水道の面的整備を進め管路によって汚水を収集し、集約して処理場で浄化する方が効率的だ。

私は就任以来、民間シンクタンク「構想日本」の協力により、国に先駆けて事業仕分けを実施してきた。現在は市の全事

業を対象に、市民を評価者とする仕分けと、市役所内部で市が自ら行う仕分けを併用した独自の方式で取り組んでいる。その市民による仕分けでは下水道事業に対し、人口密度の高い地域には下水道を整備すべきだと

金が議論されているが、下水道事業の計画や進捗に応じた財源が確保できるか未定だ。

下水道事業に関して、整備水準の高い自治体がこれまでに得てきたのと同じ規模の財源を、そうではない自治体も確保できるような制度設計が行われるべきだ。

大きな制度変更には、多様な状況にある自治体の意見を聞き、市民生活や事業現場に混乱をきたさないよう、また、市民や地方財政に新たな負担を生じさせないよう配慮

国から財源を移した上で、実施は各自自治体の判断に任せる」との結論になった。現在、一括交付すべきだ。